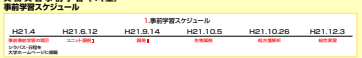

響き合いネットワーク連絡協議会

会長：中野　重行

特定非営利活動法人 ひびきあいネットワーク長崎SP研究会

代表　姫野　勝

発足について

2007年8月22日に、長崎国際大学薬学部に誕生した、模擬患者の会です。模擬患者参加型の授業により、医の倫理、EBMの実践、コミュニケーションの3つの能力を持つ質の高い薬剤師の教育が目的です。
模擬患者は大學近郊の方が参加しています。

1年　・病院・薬局における早期体験学習　・教養セミナー早期体験学習
《1年生》　薬局・病院薬局見学風景

2年　病院における臨床体験学習

患者さんと話す、行動を共にする

勤務薬剤師による調剤指導

実務実習事前学習《4年生》
事前学習スケジュール

1.事前学習スケジュール

H21.4	H21.6.12	H21.9.14	H21.10.5	H21.10.26	H21.12.3
事前事前学習の開示 シラバス・日程を大学ホームページに掲載	ユニット調剤Ⅰ	調剤Ⅱ	生物薬剤	処方箋解析	総合実習

事前学習風景

人体モデルをつかった実習

模擬患者への服薬指導指導

一般市民の方（模擬患者）参加の医療コミュニケーション研修

6年　薬学研究者と臨床薬剤師の醸成
6年次科目の治験コーディネーター論の中で、「学生をCRC（実際の認定CRCにも参加して頂く予定です）にみたて、模擬患者および模擬モニター（実際の製薬会社のモニターに協力を願って準備します。）をつかった医療コミュニケーション教育を計画している」

連絡先 立石正登
長崎国際大学薬学部ホームページ:http://www1.niu.ac.jp/
〒859-3298　長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7
TEL:0956-20-5705　FAX:0596-39-3111　E-mail:tateishi.m@niu.ac.jp

豊の国医療教育ボランティア会（豊の国SP研究会）

代表　野崎　公敏

発足について

模擬患者の始まりは1960年代の米国に遡ります。
わが国でも臨床医学教育を進めるなかで、臨床実習をより効果的に行なうためには模擬患者が必要と考えらました。大分では2001年12月に当時大分医科大学（現大分大学医学部）臨床薬理学教授をしておられた中野重行先生（現創薬育薬医学教授）と国立療養所西別府病院（現国立病院機構西別府病院）の病院長をしておられた森照明先生（現湯布院厚生年金病院長）が模擬患者の必要性を認識されてその養成にとりかかられ、お二人の音頭で「模擬患者とは」というワークショップが開催されました。

これを第1回として年2〜3回のペースで「豊の国医療コミュニケーションの集い」という名のもとにこれまでに21回行われました。その参加者の中から模擬患者として巣立った人たちが結集したのが「豊の国医療教育ボランティア会」です。発足は2002年です。大分県における模擬患者の集まりとしては唯一のもので、現在の会員は21名に過ぎませんが、活動の場は大分大学医学部を始めとして県内外の医育機関・医療機関に広がっています。

ワークショップの模様とそれを伝える新聞記事

昨年度の活動

大分県看護協会トピック（暴力対応）研修会・　大分大学医学部4年生の医療面接実習と共用試験OSCE
湯布院厚生年金病院新人職員研修・　大分大学医学部付属病院研修医オリエンテーション
大分大学医学部1年生の早期臨床体験（於 湯布院厚生年金病院・西別府病院）
大分大学医学部6年生の Advanced OSCE・　大分県歯科衛生士会新人研修
大分市福祉保健部長寿福祉課職員研修・　大分県看護協会の教育計画研修会（コミュニケーション基礎編・応用編）
大分大学医学部編入学生早期臨床体験（湯布院厚生年金病院）・　別府市医師会看護学校コミュニケーション研修
日本病院会 医療安全管理者養成講習会

活動を強化するために

模擬患者の必要性は医療関係のいろいろな分野でますます大きくなると考えられます。今後の活動を強化するために以下のようなことに取り組むつもりです。

●演技のスキルアップ
毎月、大分と別府で1回づつ行っている勉強会で一層のスキルアップをはかる。

●模擬患者養成
ワークショップなどを通じて模擬患者の志望者を発掘し、養成講座を随時に開催して効果的な養成を行う。

勉強会

連絡先
E-mail:iota_sp@hotmail.co.jp　HP:http://www.oct-net.ne.jp/˜tdnozaki

響き合いネットワーク支援組織
1）NPO法人豊の国より良き医療と健康づくり支援センター（略称:豊サポート）
理事長:中野重行　HPアドレス http://www.toyo-sup.org/index.html
2）大分大学医学部創薬育薬医学
HPアドレス http://www.med.oita-u.ac.jp/pharmaceutical_medicine/
※1）のNPO法人豊サポートの事務局が創薬育薬医学講座内にあります。

岡山

響き合いネットワーク湯布院

代表　森 照明

発足について

2010年6月20日に、湯布院厚生年金病院で誕生した模擬患者（SP）の会です。
SP養成目的は「1.新採用者の教育・当院で研修する学生を対象とした教育、2.全職員を対象として医療安全や接遇を学ぶ場での活用、3.SP自身がロールプレイをすることで自己のコミュニケーション能力を高めること」が目的です。職員のうち希望者56名がSP養成講座を受講しました。

今後の活動

当院で定期的に行われる模擬患者研修に参加して、レベルアップを図ること。10月に行われる大分大学医学部学生対象の「介護体験実習」のロールプレイをはじめ、当院での学生実習、新人研修にSPとして参加する。

開設記念講演会の写真
大分合同新聞
平成22年6月22日

CRC関連

当院は「豊の国臨床試験ネットワーク」に参加しており
現在、摂食障害患者を対象とした臨床第Ⅱ相試験を実施している。

連絡先
〒879-5193　大分県由布市湯布院町川南252
TEL:0977-84-3868　FAX:0977-84-5408　E-mail:moribrain@nifty.com

特定非営利活動法人 響き合いネットワーク岡山SP研究会

代表　前田　純子

発足について

1988年、前田純子が川崎医大総合診療部　津田司先生（現三重大学教授）のご指導のもとSPの活動をはじめました。そして1998年、その輪を広げるため、市民グループとして岡山SP研究会を設立しました。

活動内容

- 医・歯・薬学生を対象にした医療面接実習やOSCE(客観的臨床能力試験)
- 看護科学生を対象にしたコミュニケーション実習
- 栄養士、薬剤師を対象にした患者教育のためのワークショップ
- 医師を対象にした医療コミュニケーションのワークショップや研修会
- 病院職員を対象にした“接遇マナーの研修”

CRC関連

06.10.8	臨床薬理学会年会大宮ソニック
07.11.20	聖マリアンナ医科大学 「患者からの正しい同意取得法の実際」DVD作成
07.11.28	臨床薬理学会年会
08.1.19	福岡国際医療福祉大学CRCとのコミュニケ-ション授業 （東京・熱海・福岡ネットワークで）
08.8.9	同じ
09.7.26	厚生労働省科研費CRC研修会
09.8.9	第1回臨床薬理学会CRC研修会
09.10.11	岡山大学CRCとの研修
10.1.10	聖マリアンナ医科大学「医師・CRC研修会」

■主に岡山県倉敷市の川崎医科大学で行っています

模擬患者の養成

トレーニング毎月　定例会を開き、勉強会・反省会を行っています。医療面接実習やOSCEの前には、その都度集まってSP間の技能の統一化を図ります。SPだけで解決できない事はアドバイザーに相談し、質の向上を図っています。

今後の活動

1.出張SP養成講座　2.一般向け・医療者向けフォーラムの定着化
3.SP養成講座のDVD作成　4.SPの「本」作成

連絡先
〒719-1162　岡山県総社市岡谷1672-9（西谷方）
TEL:080-1647-7507　FAX:0866-93-8608　E-mail:nishitani@okayama-sp.com

響き合いネットワーク山形SP研究会

代表　井上 京子

発足について

山形でのSP養成は、山形県立保健医療大学看護学科教員の研究グループによる「SP養成のための研究会設立準備」から始まりました。平成18年度に研究会を設立した当初は会員数9名(教員を含む)で、SPに関する研修会に参加したり、講師を呼んでの学習会を開催したりしながら、自主活動グループへの移行準備をしてまいりました。そして平成20年度より、自主活動グループ「山形SP研究会」として活動を開始いたしました。さらに、講師として来ていただいた前田純子先生にご紹介いただいた中野重行先生、響き合いネットワーク東京SPの会の皆様との出会いがあり、文字通り響き合うことにより、平成21年度より「響き合いネットワーク山形SP研究会」といたしました。平成22年9月現在会員数15名となり、地道な活動を歩んでおります。

山形県立保健医療大学

活動内容

毎月第3水曜日を定例会としています。定例会では、シナリオを用いてのトレーニングやVHS視聴による学習会、研修会の企画、SPとして授業に参加する際の打合せやそのトレーニング、研修会参加報告会などを行っています。
研修会の企画では、平成21年と平成22年の6月、さくらんぼの季節に医療コミュニケーションWSを開催し、県内外より研修会にご参加いただきました。
SPとしての活動では、山形県立医療大学看護学科や理学療法学科の授業に参加しています。

看護学科
「基礎看護技術論」授業
響き合いネットワーク東京SPの会の皆様との交流

今後の活動

山形の風土が育てた?酒豪ぞろいの愉快な会員とともに、SPとしてのスキルアップをはかるためのトレーニング方法を検討しながら、今後も和気あいあいと活動を続けていきたいと思っています。
まだまだ周知度が低く、広報活動を充実させ、活動の場を拡大していく予定です。CRCに関しても、コミュニケーション研修会が開催できるように、山形県薬剤師会に働きかけていきたいと考えているところです。

連絡先
〒990-2212 山形市上柳260　山形県立保健医療大学
TEL&FAX:023-686-6643（研究室）携帯:090-4888-7414　E-mail:kinoue@yachts.ac.jp

山形

東京

特定非営利活動法人 響き合いネットワーク東京SPの会

理事長　神永　教子

発足について

2006年10月9日学会センタービル（日本臨床薬理学会が入居しているビル）の地下会議室で中野先生を招きワークショップを開催。参加者は22名で、SPが何であるかも知らず、会に名前も無いが講師だけは超一流で始まりました。一致していたのは「いいお医者さんに掛かりたい」との気持ちからです。

ワークショップ:2010年9月までに16回開催した。
北海道・東北・九州からも参加している。
ニュースを発行:年間2回発行していたが今年から月例研修会前にお知らせ版として連絡事項を記載することになった。
●運営をスムーズにするため、事務局に広報部を新設し、担当者を2名増員した。

活動内容 SP育成事業

新人研修:2009年には月例の中で、前半を新人研修として研修を行った。2010年からは新人研修を独立した。
月例研修会:毎月第2火曜日を月例研修会とした。
参加者は28名から32名。講師は学術部門の部員が行う。

月例でのロールプレイ風景

ワークショップでグループの懇談と前田純子先生と医学生によるデモ

SP組織運営事業—日本歯科大学医療面接　OSCE　北里大學薬学部服薬指導　国際医療福祉大学大学院生と医療面接
聖マリアンナ医科大学病院　医療面接　OSCE　国際医療福祉大学大田原校薬学部OSCEトライアル　日本家庭医学会23回
明治薬科大学大学院　北里東病院（治験管理室でのSP対応）　日本大学医学部附属看護専門学校　東京医療保健大学
帝京大学　聖路加国際病院　昭和大学薬学部　神奈川歯科大学OSCDE　医療面接　日本臨床薬理学会CRC研修会
啓蒙活動—パンフレット作成、「NPO法人響き合いネットワーク東京SPの会」ニュース4回発行、ホームページ作成。
都内のボラ市民センターへWSの開催のお知らせを流す。
CRC関連:06年・07年臨床薬理学会　08年札幌ガンセンターCRC研修会　08年国際医療福祉大学大学院07年・08年・09年・10年聖マリアンナ医科大学

聖マリ大でのCRC・医師とSP（付き添い付き）説明同意

第2回日本臨床薬理CRC研修会で同意説明風景

連絡先
〒164-0011東京都中野区中央5-39-14-302　TEL:03-3380-1532　FAX:042-321-6473
E-mail：hibikiainetwork.tokyo@hotmail.co.jp　HP:http://kaminaga.moo.jp